<建設業会計 1級（財務諸表）ミニテスト16> リース会計

【問題】

当社（MS A建設）は（決算日3月31日）下記の条件でオリガミリースから建設設備（経済的耐用年数12年）をリースした。

<条件>

① 契約について

当契約は賃貸借契約であり、所有権移転条項、割安購入選択権の特約は付されていない。契約期間は10年であり、中途解約時には残債を全額支払う義務がある。

② リース料について

月額¥100,000 支払は年1回（毎期末に現金で支払い）

③ リース取引開始日 ×1年4月1日

④ リース料に含まれる利息相当額は¥1,200,000で、定額法により各期に分配する。

以上により、下記の仕訳を示しなさい。

(1) リース取引開始日（平成×1年4月1日）の仕訳

(2) 平成×2年3月31日の仕訳

【解答】（科目は一般的科目を使用のこと）

	科目	金額	科目	金額
(1)	リース資産	10,800,000	リース債務	10,800,000
(2)	リース債務	1,080,000	現金	1,200,000
	支払利息	120,000		
	減価償却費	1,080,000	減価償却累計額	1,080,000